

[First Hit](#) [Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)**End of Result Set** [Generate Collection](#) [Print](#)

L30: Entry 1 of 1

File: JPAB

Nov 2, 1992

PUB-NO: JP404310053A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 04310053 A
TITLE: VIDEO TELEPHONE SET

PUBN-DATE: November 2, 1992

INVENTOR- INFORMATION:

| NAME | COUNTRY |
|--------------|---------|
| SAITO, OSAMU | |

ASSIGNEE- INFORMATION:

| NAME | COUNTRY |
|------------|---------|
| SHARP CORP | |

APPL-NO: JP03075418
APPL-DATE: April 9, 1991

INT-CL (IPC): H04M 11/06; H04N 7/14

ABSTRACT:

PURPOSE: To allow the telephone set to connect to an opposite line automatically by selecting a picture of an opposite party of talking among plural displayed pictures in the case of making communication with voice and picture and allowing the user to select only the picture from a storage device.

CONSTITUTION: Some of plural picture data received in the past are displayed with reduction on a display device 1 at dialing. Not only the picture of an opposite party but also attached information, that is, date and time when the picture of the opposite party is recorded and a speech history so far is displayed on the display screen. The user selects a picture of the opposite party to which the line is desired to be connected by using an operation section 6 (comprising a touch panel 6a, a mouse 6b and a keyboard 6c). A storage device control section 4 seeks a telephone number to the picture commanded by the operation section 6 and the control section 3 outputs the telephone number to the line, the line is automatically opened and the opposite line is connected.

COPYRIGHT: (C)1992, JPO&Japio

[Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)

(51) Int.Cl.⁵
 H 04 M 11/06
 H 04 N 7/14

識別記号 庁内整理番号
 7117-5K
 8943-5C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全4頁)

(21)出願番号 特願平3-75418

(22)出願日 平成3年(1991)4月9日

(71)出願人 000005049

シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72)発明者 斎藤 修

大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ
株式会社内

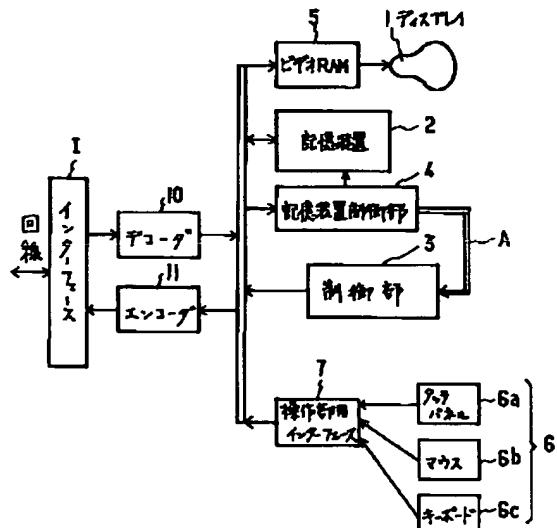
(74)代理人 弁理士 梅田 勝

(54)【発明の名称】 テレビ電話装置

(57)【要約】

【目的】 音声と画像により通信を行うテレビ電話装置において、表示された複数画像の中から通話する相手の画像を選択することにより、自動的に発信して回線をつなげるようにする。

【構成】 画像データと電話番号と日時情報を記憶する手段を設ける。この記憶手段に記憶された複数の情報を画面上に表示する手段とこれらの情報を選択する手段を設ける。前記選択手段で選択された情報に対応する電話番号情報を発信する手段を設ける。通話を行う時には、前記記憶手段に記憶された複数の画像情報が表示装置の画面上に表示され、使用者が前記選択手段にて表示されている複数の画像情報から通話する相手を選択すると、この選択された情報に対応する電話番号情報によりその相手方に自動的に発信され回線がつながる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 音声と画像により通信を行うテレビ電話装置において、画像データと電話番号と日時情報を記憶する手段と、前記記憶手段の情報を表示装置上に1情報あるいは同時に複数情報を表示する手段と、表示された情報を選択する手段と、前記選択手段で選択された情報に対応する電話番号情報により発信する手段とを有することを特徴とするテレビ電話装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は音声と画像により通信を行うテレビ電話装置において、以前通信した相手画像と付随した情報のデータを覚えておき、次回こちらからその相手に電話を掛ける時に、相手画像のデータを選択することにより、自動的に相手の電話番号を出力し、回線をつなげるようとしたテレビ電話装置に関する。

【0002】

【発明の概要】 本発明は音声と画像により通信を行うテレビ電話装置において、送られてくる相手画像の内容の一部と相手の電話番号を始めとして発信者に関する様々な情報を一緒に保存する記憶装置を設け、一方、保存された画像とそれに付随する情報をこちらの表示装置に表示する手段と、それらデータを選択できるようにする装置を設け、次回こちらからその相手に電話を掛ける時に、記憶装置内の画像を選択することにより、自動的に相手の電話番号を出力し、回線をつなげるようとしたものである。

【0003】

【従来の技術】 従来より、相手の電話番号にこちらが決めた任意の数字（2桁）を割り当てて、それを入力することにより長い電話番号を入力する手間を省くという、短縮ダイヤルといった機能は様々な電話機で見受けられた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしこれは、設定に面倒な手続きをふむ上に短縮したダイヤルもやはり覚えていなければならないという煩わしさがあった。本発明では、テレビ電話装置には表示装置が付いているという点と、ISDN（総合デジタル通信網）回線の規格により電話の受手側は相手の電話番号を知ることができるという点に注目し、以前送られてきた画像と電話番号、その他の情報を記憶装置に保存しておき、次にこちらから電話する時に、表示装置上で画像のみを選択することにより、相手に回線がつながる様にするテレビ電話装置を提供するものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は、音声と画像により通信を行うテレビ電話装置において、画像データと電話番号と日時情報を記憶する手段を有し、この記憶手段の情報を表示装置上に1情報あるいは複数情報にわた

2

り表示する手段と、表示された情報を選択する手段と、前記選択手段で選択された情報に対する電話番号情報により発信する手段とを設ける。

【0006】

【作用】 着信時においては、回線がつながると、制御部はただちに発信者番号と記憶装置内の電話番号を照合し、もしも初めての相手であるなら、その発信者番号と受信画面の一部を記憶装置に登録する。もしも初めてではなかったなら、以前の登録画面を更新するかどうかは使用者が決定できる。発信時においては、使用者が、表示装置に表示された幾つかの縮小された画像データの中から一つを選択することにより、それに対応した電話番号が表示される。

【0007】

【実施例】 以下、本発明のテレビ電話装置の一実施例を図面とともに詳細に説明する。図1は本発明のテレビ電話装置の一実施例の構成を示すブロック図、図2は本発明全体に関わるテレビ電話装置全体を示す図、図3は本発明のテレビ電話装置の着信から交信開始までの動作を示すフローチャート、図4は本発明のテレビ電話装置の発信開始時の基本画面を示す図である。

【0008】 図1及び図2において、1は相手方の画像を始めとする様々な情報を表示するディスプレイ装置、2は何人もの相手方のデータと電話番号と日時情報等の様々な情報を記憶する記憶装置、3は前記記憶装置2を始めとするテレビ電話装置全体を制御する制御部、4は前記記憶装置2内のデータを制御する記憶装置制御部、5は前記ディスプレイ装置1に画像を出力するためのビデオRAM、6は前記ディスプレイ装置1内にいろいろな操作を行うための操作部であって、6aはタッチパネル、6bはマウス、6cはキーーホード、7は前記操作部6用のインターフェース、8は受話機、9は使用者を撮像するビデオカメラ、10はデコーダ、11はエンコーダである。尚、IはISDN（総合デジタル通信網）回線とのインターフェース、Aは記憶待機信号を示す。

【0009】 上記のように構成された本発明のテレビ電話装置において、着信時から交信開始までの動作を以下に説明する（図3を参照）。着信時においては、制御部3は着信信号から相手の電話番号を調べ、その電話番号を記憶装置制御部4へ送る。記憶装置制御部4は制御部3から送られた電話番号と記憶装置2内の電話番号とを照合し（ステップ#1）、以前通話した経験が無ければ使用者が受話器8をとって回線がつながり画像が送られてきた瞬間をもって、その画像と電話番号を記憶装置2に登録する為の記憶待機信号AをON（ON）にセットする（ステップ#2）。以前通話した経験があれば、記憶待機信号AをOFF（OFF）にセットする。回線接続時（ステップ#3）には、制御部3は記憶装置制御部4から送られた記憶待機信号Aを読み（ステップ#4）、ON（ON）であればその時に送られてきた相手画像と

電話番号、その他のデータを記憶装置2に記憶し（ステップ#5）交信状態に入る。記憶待機信号Aがオフ（OFF）であれば、記憶装置2は介さずに直接交信状態に入る。

【0010】次に発信時の動作を以下に説明する（図4を参照）。発信時においては、まずディスプレイ装置1に図4に示すように過去に受信された複数の画像データのうち幾つかが縮小表示される。この中では使用者は相手画像だけでなく付随した様々な情報（相手画像が記録された日時、これまでの通話経歴等々）を見ることもできる。この中から使用者は回線をつなぎたい相手の画像を何らかの操作部6をもって選択する。本実施例では、この操作部6はタッチパネル6a、マウス6b、キーボード6cを備えているものとする。タッチパネル6aを使用した場合は、縮小表示された画像データを直接指で押すことによって画像が選択される。マウス6b、キーボード6cを使用した場合は、図4中の指示カーソルaを操作することにより、やはり画像が選択される。記憶装置制御部4は、これらの操作部6により指示された画像に対する電話番号を探し出し、制御部3によりその電話番号が回線へと出力されることにより自動的に回線が開く。

【0011】

【発明の効果】本発明のテレビ電話装置は以上のような構成であるから、使用者が記憶装置から画像を選択するだけで、自動的に相手に回線がつながるようにすることができる。これによれば、使用者は以前掛かってきた事のある相手であれば、相手の顔だけでも覚えていれば電話を掛けることが可能になり、更に短縮ダイヤル等のよ

うに、煩わしい手順をふまなくても簡単に操作できるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のテレビ電話装置の一実施例の構成を示すブロック図である。

【図2】本発明のテレビ電話装置の一実施例の全体を示す外観図である。

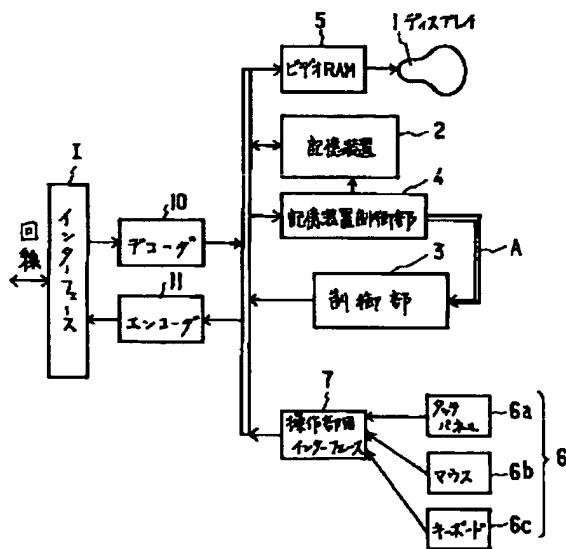
【図3】本発明のテレビ電話装置の一実施例による着信から交信開始までの動作を示すフローチャートである。

【図4】本発明のテレビ電話装置の一実施例による発信開始時の基本的な画面を示す図である。

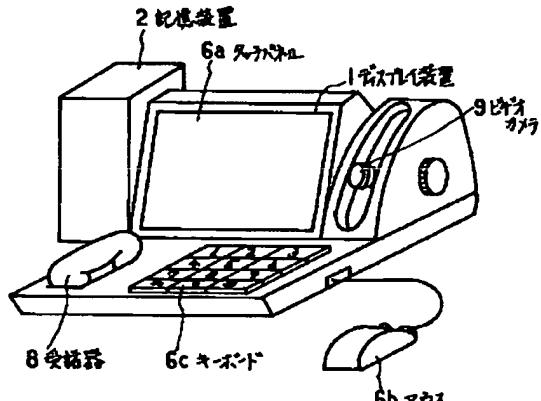
【符号の説明】

- 1 ディスプレイ装置
- 2 記憶装置
- 3 制御部
- 4 記憶装置制御部
- 5 ビデオ RAM
- 6 操作部
- 6a タッチパネル
- 6b マウス
- 6c キーボード
- 7 操作部用インターフェース
- 8 受話器
- 9 ビデオカメラ
- 10 デコーダ
- 11 エンコーダ
- I インターフェース
- A 記憶待機信号
- a 指示カーソル

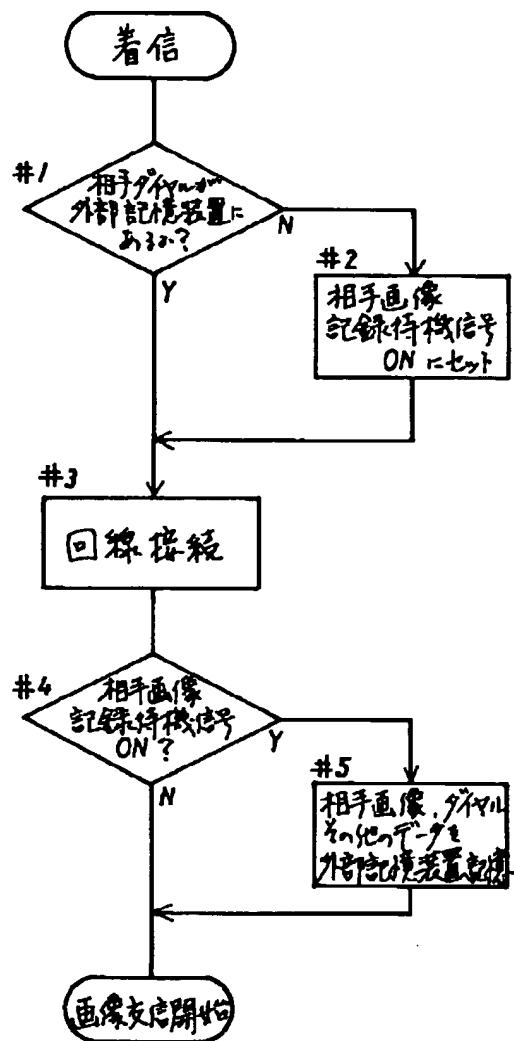
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

